

保けん野菜の食育パーパス

楽しく備える

お金さえ払えば多くのものが手に入る便利な世の中は、人と人、人と自然の間に多くの距離を生んできました。気候変動や社会の変化が続く中、この状況がいつまでも続くとは限りません。見えない未来への不安から無理をするのではなく、また目を背けるのでもなく、楽しく日常を豊かにすることが結果的に未来への備えになるような仕組みが必要だと考えています。

活動を通じて目指す姿

日々の暮らしに遊び心を取り入れ、食を中心に据えた多様な体験をを通じて、生きる確かな土台を培います。
楽しさの積み重ねが結果として未来の備えになるようなこれからの暮らしを、想いを共にする皆さんと共に社会へ広げていきます。

楽しく備えるための5つの入り口

どこから始めても、ひとつの体験が別の楽しみへと繋がり、これからのご自身やご家族を支える備えになっていく。
そんな状態を目指してお届けしている「楽しく備える」体験における、5つの入り口をご紹介します。

たべる

季節の野菜セット



手元に届いた旬の野菜を活かして食べる、という日々の工夫は、いざという時に限られた食材で豊かな食を保つ、しなやかな強さに繋がると考えています。

カブ主総会



素材そのものが持つ美味しさを知る感動は味覚の立ち戻る先となり得ると考えています。さらに今年は万が一に備えて、大災害を想定した配送訓練を実施しました。

そだてる

かてい農園



天候に左右されたり虫がやってきたりと、思い通りにならない自然の理不尽さも丸ごと楽しみながら、自らの手で食べ物を生み出す経験を重ねていきます。

つながる

農園地



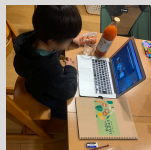
畑を開放いただき、農地というフィールドと参加者の自由な感性だけで、思いっきり遊びます。普段は蓋をしている、気づいていない感覚を解き放ちます。

コーン期 夏の風物詩 -野祭(やさい)-



とびきり美味しいとうもろこしを味わうだけでなく、様々な環境変化の中で戦いながらも極上の味を届け続ける農家さんの想いや苦労も、丸ごと分かちあう場です。

離れて暮らすご家族による授業参観



こども野菜研究会には、離れて暮らすご家族による授業参観の仕組みがあります。世代を越えてこどもたちを見守ることで、サポートし合える、安心の場となっています。

つくる

Dearレシピ



こどもの感性やこれまでの経験がレシピのアイディアとして反映された、自分だけのレシピづくり。これからの自分を支える大切な土台になればと考えています。

保存食づくり



干し野菜、味噌、干し柿など、昔から作り続けられてきた保存食。自然の力を借りて時間を越える先人の知恵は、いざという時に食を繋いでいく心強い備えになります。

まなぶ

こども野菜研究会



野菜を切り口に、様々なことを楽しみながら学ぶ習いごとです。野菜を起点に興味関心を広げ、分野を横断しながら、じっくり自然と、食べる力を積み上げていきます。